

平成中学校区 小中一貫教育

繋

二八幡小 高来小 城上小 平成中による「小中一貫教育」＝

【平成中学校区 小中一貫教育目標】

未来に向かってたくましく生きる「HEISEI＝ふるさと」の子どもの育成

H
Heart
(思いやり)

E
Emotion
(感動)

I
Idea
(考え・意見)

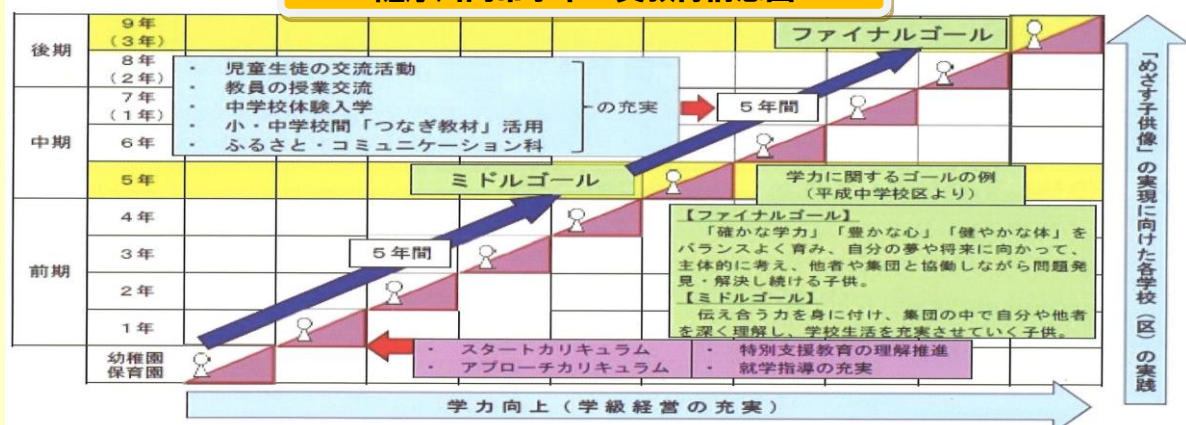
S
Self
(個性)

E
Expression
(表現)

I
Intelligence
(理解力)

学校が人が繋がる 学びが繋がる 平成中学校区の教育

薩摩川内市小中一貫教育構想図



平成中学校区小中一貫教育の構想図



推進校

【役割】

各校が輪番で推進校を努め、小中一貫教育の中心的役割を担う
校区内の児童生徒の実態を把握・周知し、課題の共有を図りながら、縦（授業改善部）と横（交流連携部）のつなぎに関わる取り組みの推進を促す。

【各種学力調査分析】

各校の全国学力・学習状況調査やNRT等の結果を集約して分析を行う。分析の結果から、校区内で共通する傾向や異なる傾向をまとめ、そこから課題把握へとつなぐ。

【令和5年度NRT分析結果】

		5年	6年	中1	中2	中3
国語	知識・技能	86	104	88	85	95
	思考・判断・表現	96	111	93	89	91
算数 数学	知識・技能	89	108	92	92	89
	思考・判断・表現	68	114	78	74	87

【全国の正答率を100とした時の指数】

【課題の把握と周知】

各校の全国学力・学習状況調査やNRT等の結果を集約して分析を行う。校区内で共通する傾向や異なる傾向をまとめ、そこから課題把握へとつなぐ。分析結果やこれまでの取組結果等を推進委員会で話し合い、各部の具体的な取組へと繋いでいく。



【推進委員会の様子】

みんなの声を繋ぐ

【全体研修会の実施】

年間3回の全体研修会（4校合同）を行い、授業研究や専門部会・教科部会を行っている。各部の取組状況や各校の児童の実態等について情報交換を行い、小中一貫教育の更なる推進につなげている。昨年度から、公開に向けたプレ公開も実施し、研修を深めてきた。



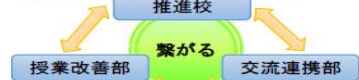
【プレ公開の様子】



【分科会の様子】

【課題解決に向けた取組の推進】

分析結果を基に、授業改善部（縦）と交流連携部（横）は課題解決に向けた具体的な取組を行っている。校区内の全職員は、どちらかの部に所属し、活動に参加する。これにより、誰もが自分事とらえ、協働的な活動に繋げていく。令和5年度からは、『伝え合う力の育成』を重視した取組を行っている。



【部会の様子】

交流連携部

家庭学習や生活において、家庭と連携を図りながら、基本的な生活習慣の改善と学習環境を整えることで、学力向上に向けた研究の推進を図る。また、小・中学校間における教員の授業交流や児童生徒の交流活動とおして、児童生徒の学力向上と教員の指導力向上を推進する。

家庭学習充実週間の取組

6・11・2月の平成中学校の定期テスト期間に合わせて実施している。子供の学習時間の確保及び家庭教育の基本である親子の会話の時間確保を図るため、「メディアコントロール（メディアと上手につきあう）」ができるようになることを目的とした取組である。

「家庭学習充実週間」振り返りカード

【取組の流れ】

家庭学習充実週間と取組内容の設定

平成中学校区「家庭学習充実週間」について

平成中学校区では、これまで放課後や食後のメディアコントロールに取り組んでおり、平成中学校テスト期間中に合わせて「家庭学習充実週間」を設けた。今年度も「学習中のメディアコントロールを徹底し、学習効率を高める」ために、家庭学習の時間を確保し、平成中学校で取り組んでいる「メディアコントロール」は「テレビを見ないこと」「ゲームやパソコン・インターネットなどをしていないこと」が目的ではない。「テレビを見る時間をコントロール、ゲームやパソコン・インターネットなどを使う時間をコントロール」することによって生まれる時間。

「家族との対話」「将来の夢・仕事について考える」

「読書の楽しさにふれる」「家庭学習の時間」

などに定めていくという取り組みです。実施方法を家庭に話し合ってもらい、取り組んでいただく。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

（お子さん一人につき1枚ずつ振り返りカードの記入をお願いします。）

家庭学習の目標の設定

メディアコントロールの目標の設定

子供保護者

取り組んだ感想（子供）

おうちの人からひとこと（保護者）

【実際の「ひとこと」より】

・目標をしっかりとがんばっている姿が見られて、うれしかったです。

・家庭で設定した日の目標を守り、集中して勉強に取り組む姿勢が見られました。

学校

校区で共有・各学校で活用

授業交流

【中学校 ⇄ 小学校】



全国学力学習状況調査の課題を生かした理科の授業

【小学校 ⇄ 中学校】



小学校での算数とのつながりを意識した数学の授業

【小・中交流】



合同授業（6年生・英語）

合同授業（5年生・国語）

交流活動

【小・中交流】



藤原川内元気塾 Teamsを活用したテレビ交流

【集団宿泊学習】



【小5・小6・中1による合同宿泊学習】

【いっしょに交流】



【特別支援学校の交流活動】

授業改善部

- 発達段階を踏まえた9年間をつなぐ指導法の研究を推進する。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を推進する。

学習態度のつなぎ

授業の受け方五カ条

授業の受け方 五カ条
1. 授業の受け方 五カ条
2. 授業の受け方 五カ条
3. 授業の受け方 五カ条
4. 授業の受け方 五カ条
5. 授業の受け方 五カ条



発表の様子

授業の受け方 五カ条

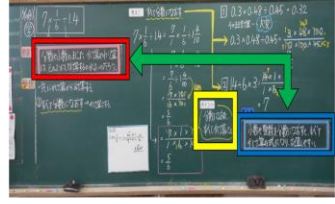
授業の受け方 五カ条
1. 授業の受け方 五カ条
2. 授業の受け方 五カ条
3. 授業の受け方 五カ条
4. 授業の受け方 五カ条
5. 授業の受け方 五カ条



授業開始前の黙想

学習形態のつなぎ

板書の統一



めあてとまとめは色や線で区別をつけて

大切な言葉は線で囲む

めあてとまとめの整合性

学習内容のつなぎ

「家庭学習の手引き」
9年生を見通し、全学年に共通したもの、低・中・高学年、小中学生のそれぞれに合わせて作成した手引きを活用している。



「中学校入学までに身に付けてほしい力」一覧
児童生徒の実態や、学力検査の結果等を基に、中学校入学までに身に付けてほしい力を教科ごとに設定し、共通実施している。

平成中学校 中学校入学までに身に付けてほしい力	
国語	漢字の書き順 原稿用紙の使い方 資料の見方、読み取り方 主な地名、人物、出来事など（都道府県名、県庁所在地、主な国） 読み書きのスピード 語を聞く力
社会	計算過程を書く習慣づけ（自分の解答に根拠を持たせる） 計算力の定着（速く、正確に） 理科でのマナー 実験態度（仮説、考察を取り入れた学習） 正確な単位の使いの把握と面積の計算 ヘボン式ローマ字
算数・数学	ローマ字、アルファベットが書けるようになる。 小学校で学習する英語
理科	音が外れても楽しく歌う雰囲気
英語	絵画道具の使い方やスムーズな後片付け。
音楽	走力の向上
図工・美術	
保健体育	